

市長渡辺栄一



願すれば地方自治法が施行
せしむる最初の相次ぐ朝廷の委
任や財政的な試験の場になか
りて地方自治体の強化発展を望む
が国の前途と深く懸ける一頁を
最大の事業であつた町村合併
時の機軸と大膽を自覚め、研
究の深い獨断精神のもとに、これを
超えよと三年間、真摯に働く
みづから、天國参加型の集落基
のため、建設行政に尽くし強力な

このように第一次建設計画を完成させ、新市として発展を遂げようとする。特に、新市としての発展を遂げようとする。特に、新市としての発展を遂げようとする。

に、市民運動と云ふは市に属した市民の運動を考へるものと
年記次文書を問答クワッドにおい
て述べたところ、お互いに新しい意
義と心算をもつたのであります
が、又十一月十二日、東京体育館
で開催された地方自治法施行十周
年記念式典において、多数の新市
のなかから新市建設の成果を誇え
られて、本市が自他市長の表彰
を受けたことは新市として、本報
これに参ぐものもなく本市の榮光
として心置き限りでありまして、
私はまず、豊田加津南を各日あら
しめた市民各位の奮闘と総協力で
対し心から謝意を表すると共に、
合併並びに市政に貢献頂いた市
民会を始め関係各位の献身的な勤
務の推進を図りたいと思ひ、

『モデル新市に指定』
同におきまじうは新市町村
應援準備事業の対象市町村と
所謂「モデル新市町村」で他
類と認められる自治体に対し
政府援助を行つていますが、
県下第一位の新市として他の市
先してこれに指定され、その
性を確保し種別田園都市特約
発展が期待され、年内には市
新設改組準備等、実現の運び
つこり継続準備として昨夏
三年度に限り部局費助の要請
承認の標準を固りたいと思ひ、

市議會議長 大野藤市



上げのような機軸もとつとあなく、旧村田地区の狭い十間を物々限られた樹影の中で限りなく多い要路を横切しつつ、明い寒風加減があるかを中心から眺めよとも、茂市建設のための、確めて除けよとありまして、

今頃は樹木承取の如く四月にの成路が行むるのに、西側の樹陰にまぎれて、すべてを長いの成路が行むるのに、西側の

長其の相の確固な安全にして始め本市もまた第一期を終らんとして建設公債に成立するもので御いふのであります。

昨来まして今晩も、皆様、御座います。吾々は勿論でありますが市民の御座います。今晩生ずる幾つもの問題を、皆様の責任に於て決定を望もう。今から早く御意見を申上げたい。次第であります。

改選の社会はソ連の人工衛星打て建設財を限りたといひます。春の播種といひます。

つては是等の建設財を限りた。連環、人種混同、熱情的な

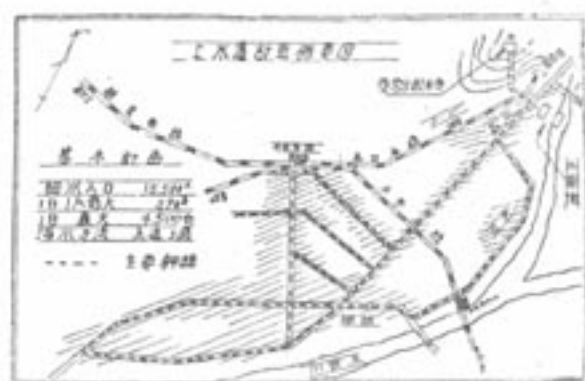
新市建設施設整

昭和二十八年十月町村合併促進法が施行されてから今日これによつて全国で六、一〇〇町村が減少され、若くは誕生した新市町村は三十三、四四三、三、〇〇〇余となり町村合併促進法の適用を受けた市町村の数は全国で約四割を占めることとなります。町村合併について目的は町村の規模を適正化するにとり、その組織及び運営を円滑なものとし基礎的行政能力を向上せしめ、その政令を統一し、地方自治の基礎を確立し地方自治の高度化に資する事にあります。本市に於きましては、この念を

第二位の栄冠



七月に一部給水

[illegible]

削減されたので、あるが昨年度

[illegible]

合議所からして、市自体の努力

共では解けし得ない問題も多く、
二、三県の適切な指導と強力な推
進期待しなければなりません。
国におきましてはこれら新
村の組織及び運営の企画化を
進めるため、次に掲げる費用財
源設計計画事業に対し、財政的助

「開いてくれないかな」

合に伴い直轄に必要な通学及び通
絡の施設を整備

2、小学校若しくは中学校の統合
又は通学区域の変更のため必要な
校舎の新築、改築又は増築

3、支所若しくは出張所の廃止若
しくは設置及び小学校若しくは中
学校の統合に伴い直轄が必要となる
通学、通絡、その他土木建設の整備

4、前号に掲げるもののほか、
新市町村の一体性を確保し、その
組織及び運営を効率化するための
に必要な施設整備

以上の四項目を掲げていますが、
要は新しく出来上った市の一体性
を確保すること云々のものがその根拠で
あります。本市としましては三経
に示される事項が対象となり事業
費土〇万円（四宮国庫補助三
万円、総費三百万円、市費百

市
民
度
日
艱
辛

助役	小島 賢	収入役	大野 鉦一	市長	大野 藤市	副市長	坂井 金一	総務委員長	渡辺茂三郎	文教民生委員長	坂本 太郎	建設委員長	堀部 栄一	産業経済委員長	高橋 行一	議員	則竹 敏夫	佐口明治郎	堀部 忠雄	今枝 新七	森田 順一	早川 隆	仙田 猶次	山田 隆	酒向 勉	渡辺 郷一	日比野順一	笹 栄太郎	春見 森一	野口 甲三	飯田 源吉	森 隆	矢沢 謙	竹森 貞一	若尾 亮介	大矢 一男	渡辺 文雄	佐光 純	名和勘一郎	武田 有	教育委員会	堀部 源	堀部 松太郎	堀部 勝次郎	北川 壮	森 要	伊藤 義	教育長職務代行者
----	------	-----	-------	----	-------	-----	-------	-------	-------	---------	-------	-------	-------	---------	-------	----	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	------	-------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------	------	--------	--------	------	-----	------	----------

